

害患者の検討。第45回日本児童青年精神医学会総会、名古屋、2004、11。

陶山寧子、佐藤嗣有子、建部佳記、竹内直樹、藤田純一、石川真吾、山田芳輝：対人恐怖、醜形恐怖を訴える児童・思春期の検討。第45回日本児童青年精神医学会総会、名古屋、2004、11。

渡部泰弘、大塚達以、陶山寧子、竹内直樹：「抑うつ」または「興味・喜びの減退」を認めた症例の検討。第45回日本児童青年精神医学会総会、名古屋、2004、11。

陶山寧子、佐藤嗣有子、建部由記、竹内直樹：女子高生の治療の困難さについての検討。第22回日本青年期精

神療法学会総会、千葉、2004、11。

小田原俊成、成田博之、山田康弘、藤田純一、山田朋樹、長谷川花、平安良雄、古川良子、小田原俊成、山田康弘、藤田純一、平安良雄：病棟における高齢入院患者の特徴について。第19回日本老年精神医学会、長野、2004、6。

松井尚子、近藤智津恵、塩崎一昌、平安良雄、竹内直樹：横浜市立大学における学生のメンタルヘルスに関する研究（1）—修正型UPIからみた実態調査—。第145回神奈川県精神医学会、横浜、2004、11。

形成外科

（論文発表）

佐武利彦、鳥飼勝行、高橋卓也、藤澤美幸、長西裕樹、前川二郎：深下腹壁動脈穿通枝皮弁（DIEP flap）浅下腹壁動脈皮弁（SIEA flap）を用いた低侵襲乳房再建術。日本マイクロサージャリー学会誌、**17**(3): 252-261, 2004。

荻野浩希：カデックス軟膏局所注入が奏効した難治ボケット型仙骨部褥瘡の一例。医薬の門、**44**(5): 514-516, 2004。

三上太郎、前川二郎、佐武利彦、醍醐佳代、清水 調、吉田豊一、鳥飼勝行、三上康和、河合 敏、佃 守、川辺良一、青木伸二郎、海野 智、大村 進、藤田淨秀：舌半側切除後に必要な再建とは—遊離前腕皮弁と遊離腹直筋皮弁との比較から。頭頸部腫瘍、**30**(1): 94-99, 2004。

菅野百合、荻野浩希：関東労災病院における透析用内シヤント手術成績5年間の考察。形成外科、**47**(8): 901-907, 2004。

（学会発表）

Torikai K: Midface Distraction Osteogenesis with Transpalatal Approach. 第14回日中形成外科学会、Beijing, China, 2004, 9。

Torikai K, Kijima T, Satake T, Yasumura K: Le Fort III and Le Fort II Distraction Osteogenesis with Transpalatal Approach and Transfacial Pin. The 5th Asian Pacific Craniofacial Association Conference, Seoul, Korea, 2004, 10。

Maegawa J, Mikami T, Daigo K, Satake T, Torikai K, Ogino Y: Posterior auricular arterial fascia flap for ear lifting in microtia patients. 7th Japan-Korea Congress of Plastic and Reconstructive Surgery, Sapporo, 2004, 6。

Maegawa J: Oromandibular reconstruction by wraparound method with rectus abdominis musculocutaneous flap and reconstruction plate: AO lecture tour, Nagoya, 2004, 7。

Yasumura K, Kobayashi S, Shiratake Y, Fukawa T, Torikai K: Le Fort II and III Osteotomy to the Patient with Apert Syndrome. The 7th Japan-Korea Congress of Plastic and Reconstructive Surgery, Sapporo, Japan, 2004, 6。

Naganishi H, Torikai K, Hiroto K, Yasumura K, Mikami T: Secondary Repair of Cleft Lip Deformity with Lambda Abbe Flap—Our Experience of 7 Cases. The 7th Japan-Korea Congress of Plastic and Reconstructive Surgery, Sapporo, Japan, 2004, 6。

Fujisawa M, Mikami T, Kanno Y, Maegawa J, Torikai K: Our Experience in Treatment of Scartissue Carcinoma. The 7th Japan-Korea Congress of Plastic and Reconstructive Surgery, Sapporo, Japan, 2004, 6。

Makino T, Yasumura K, Yamamoto Y, Torikai K, Sekido K, Sato H: A device for surgical approach to upper parapharyngeal lesion—a case report of a child with large schwannoma in the neck. 第14回日中形成外科学会、Beijing, China, 2004, 9。

Koh S, Mikami T, Takahashi T, Yasumura K, Satake T, Torikai K: A Case Report of An Old Female with Argyria and Chronic Renal Failure who Developed Huge Skin Ulcer in the Temporal Lesion. 第14回日中形成外科学会、Beijing, China, 2004, 9。

Hoh T, Torikai K, Takahashi T, Satake T, Maegawa J, Kijima T: One Stage Operation of CLP with Down's Syndrome; as for Perioperative Risk Management—Our Experience of Two cases. 第14回日中形成外科学会、Beijing, China, 2004, 9。

鳥飼勝行、長西裕樹、大慈弥裕之：手関節完全切断再接着術17年後の長期成績。第4回横浜形成外科フォーラム、横浜、2004、1。

鳥飼勝行、三上太郎、広富浩一、長西裕樹、小林眞司、平川 崇、安村和則、白武靖久：硬口蓋を採骨部とし

- た初回顎裂部骨移植術. 第47回日本形成外科学会総会, 東京, 2004, 4.
- 鳥飼勝行: 形成外科のとしての副鼻腔. サイナスシンポジウム, 東京, 2004, 6.
- 鳥飼勝行: 頭蓋・顎顔面先天異常の外科治療. 佐賀, 2004, 7.
- 鳥飼勝行: 片側唇顎口蓋裂一期手術における硬口蓋後端幅に対応した口蓋形成術. 第28回日本口蓋裂学会総会, 鹿児島, 2004, 5.
- 鳥飼勝行, 安村和則, 長西裕樹, 大村 進, 小林眞司, 白武靖久, 三島木節, 福山英治, 平川 崇, 醍醐佳代, 松本 享, 関洋一郎, 佐武利彦, 広富浩一, 府川俊彦: 硬口蓋と下鼻甲介を採骨部とした顎裂部一次骨移植術. 第28回日本口蓋裂学会総会, 鹿児島, 2004, 5.
- 鳥飼勝行, 高橋卓也, 福山英治, 三上太郎, 長西裕樹, 関洋一郎, 平川 崇, 藤澤美幸, 広富浩一, 大村 進: 両側口唇口蓋裂に対する一期手術. 第28回日本口蓋裂学会総会, 鹿児島, 2004, 5.
- 前川二郎, 三上太郎, 佐武利彦, 醍醐佳代, 鳥飼勝行: われわれの施設における眼瞼・眼窩腫瘍に対する診断治療について. 第28回日本頭頸部癌学会, 福岡, 2004, 6.
- 前川二郎, 三上太郎, 佐武利彦, 鳥飼勝行, 西條正城: Muscle bow traction 法による顔面神経麻痺の治療. 第16回日本頭蓋底外科学会, 横浜, 2004, 7.
- 前川二郎, 三上太郎, 佐武利彦, 鳥飼勝行, 西條正城: 顔面神経麻痺手術の標準化と Muscle bow traction 法の適応. 第22回日本頭蓋顎顔面外科学会, 東京, 2004, 11.
- 前川二郎, 三上太郎, 佐武利彦, 鳥飼勝行, 荻野洋一: 小耳症長期結果と最近の術式についての検討. 第47回日本形成外科学会総会, 東京, 2004, 4.
- 前川二郎, 三上太郎, 佐武利彦, 鳥飼勝行: リンパ管静脈吻合術による四肢リンパ浮腫の治療—リンパシンチの有用性について—. 第47回日本形成外科学会総会, 東京, 2004, 4.
- 前川二郎, 三上太郎, 佐武利彦, 鳥飼勝行: 長期成績から見た腹直筋皮弁と再建プレートラップアラウンド法による口腔下顎再建と当科の下顎再建アルゴリズムの検討. 第47回日本形成外科学会総会, 東京, 2004, 4.
- 前川二郎, 三上太郎, 佐武利彦, 鳥飼勝行: リンパ管静脈吻合術による四肢リンパ浮腫の治療—リンパシンチの有用性について—. 第28回日本リンパ学会, 富山, 2004, 7.
- 前川二郎, 佐武利彦, 三上太郎, 菅野百合, 広富浩一, 藤澤美幸, 長西裕樹, 鳥飼勝行: われわれの施設における眼窩内腫瘍の診断治療について. 第15回義眼症研究会, 岸和田, 2004, 2.
- 佐武利彦, 藤澤美幸, 長西裕樹, 高橋卓也, 菅野百合, 三上太郎, 前川二郎, 鳥飼勝行: DIEP flap と SIEA flap を用いた乳房再建術—ドナーへの低侵襲手技と血行のよい皮弁を得る工夫. 第47回日本形成外科学会総会, 東京, 2004, 4.
- 佐武利彦, 高橋卓也, 広富浩一, 三上太郎, 前川二郎, 鳥飼勝行, 若松信吾: 末梢型と中枢型動静脈シャントを併設した free flap による再建術の経験. 第47回日本形成外科学会総会, 東京, 2004, 4.
- 佐武利彦, 小林眞二, 田邊裕美, 磯野伸雄, 長谷川隆, 平山 毅, 鳥飼勝行, 宮崎安子, 宮崎 亮, 北村 晶: パングラディッシュにおける口唇口蓋裂患者に対する医療奉仕活動. 第28回日本口蓋裂学会総会, 鹿児島, 2004, 5.
- 佐武利彦, 藤澤美幸, 長西裕樹, 高橋卓也, 菅野百合, 前川二郎, 鳥飼勝行: DIEP flap と SIEA flap を用いた乳房再建術. 第12回日本乳癌学会総会, 小倉, 2004, 6.
- 佐武利彦, 藤澤美幸, 菅野百合, 前川二郎, 鳥飼勝行: 乳腺外科手術・乳房再建術における内視鏡の有用性. 第4回横浜形成外科フォーラム, 横浜, 2004, 1.
- 佐武利彦, 櫻井亜沙子, 鮑 智伸, 高橋卓也, 木島 毅, 前川二郎, 鳥飼勝行: ホイールチェア・バスケットボールプレーヤーに発生した褥創の治療経験. 第6回横浜形成外科フォーラム, 横浜, 2004, 9.
- 三上太郎, 長西裕樹, 廣富浩一, 鳥飼勝行: 抜釘術の側からみた顔面骨骨折の治療上の留意点. 第4回横浜フォーラム, 横浜, 2004, 1.
- 三上太郎, 前川二郎, 佐武利彦, 廣富浩一, 菅野百合, 長西裕樹, 藤澤美幸, 鳥飼勝行, 三上康和, 佃 守: 涙嚢由来と考えられた眼窩内アポクリン腺癌の1症例. 第28回日本頭頸部腫瘍学会, 福岡, 2004, 6.
- 三上太郎, 前川二郎, 佐武利彦, 廣富浩一, 菅野百合, 長西裕樹, 藤澤美幸, 鳥飼勝行: 基底細胞上皮腫切除後に再発を来した症例の検討. 第47回日本形成外科学会総会, 東京, 2004, 4.
- 三上太郎, 黄 聖琥: 外傷, 採皮創に対する創傷被覆材の適応について. 第6回横浜形成外科フォーラム, 横浜, 2004, 9.
- 広富浩一, 前川二郎, 浅野さおり, 鳥飼勝行: 当科における乳幼児熱傷および熱傷瘢痕拘縮の統計. 第47回日本形成外科学会総会, 新宿, 2004, 4.
- 広富浩一, 前川二郎, 浅野さおり, 鳥飼勝行: 当科における眼窩腫瘍に対する診断治療について. 第22回日本頭蓋顎顔面外科学会, 東京, 2004, 11.
- 木島 毅, 鶴沢成一, 佐藤 豊, 蔦木洋平, 鈴木江美奈, 阿部紘子, 山田隆文, 坂本 啓, 岡田憲彦, 天笠光雄: 下顎骨に生じた類皮嚢胞の1例. 第58回日本口腔科学会総会, 横浜, 2004, 5.

- 木島 毅, 鳥飼勝行, 櫻井亜沙子, 鮑 智伸, 高橋卓也, 佐武利彦, 小野卓史: 鼻(口唇)修正術にて外科治療を終了した右唇顎口蓋裂の1例. 第1回神奈川顎顔面症例検討会総会, 横浜, 2004, 9.
- 長西裕樹, 鳥飼勝行, 広富浩一, 三上太郎, 平川 崇, 福山英治, 関洋一郎, 大村 進: 両側唇顎口蓋裂の最新治療—世界初の一期手術5症例. 第5回横浜形成外科フォーラム 横浜, 2004, 5.
- 鮑 智伸, 高橋卓也, 木島 毅, 佐武利彦, 鳥飼勝行: ダウン症候群を合併した口唇口蓋裂患者の一期手術の周術期管理. 第5回横浜形成外科フォーラム, 横浜, 2004, 5.
- 鮑 智伸, 高橋卓也, 木島 毅, 佐武利彦, 鳥飼勝行: Treacher Collins 症候群に唇顎口蓋裂を合併した一例. 神奈川症例検討会, 横浜, 2004, 7.
- 黄 聖琥, 三上太郎: 私たちが経験したガス壊疽の2例. 第5回横浜形成外科フォーラム, 横浜, 2004, 5.
- 黄 聖琥, 三上太郎, 高橋卓也, 安村和則, 佐武利彦, 鳥飼勝行: 腎不全を合併した銀皮症患者の側頭部難治性潰瘍の1例. 第6回横浜形成外科フォーラム, 横浜, 2004, 9.
- 浅野さおり, 山岡千尋, 広富浩一, 前川二郎, 鳥飼勝行: 顔面骨に Red System を適応した1例. 第5回横浜形成外科フォーラム, 横浜, 2004, 5.
- 浅野さおり, 前川二郎, 広富浩一, 山岡千尋, 谷口藍子, 鳥飼勝行: 涙器由来と思われる悪性黒色腫の1例. 第22回日本頭蓋顎顔面外科学会, 東京, 2004, 11.
- 醍醐佳代, 前川二郎, 鳥飼勝行: 過去11年間における眼瞼脂腺癌の検討. 第19回眼窩疾患シンポジウム, 福岡, 2004, 10.
- 山岡千尋, 藤田真理, 浅野さおり, 広富浩一, 前川二郎, 鳥飼勝行: 全身多発脂腺腫の1例. 第6回横浜形成外科フォーラム, 横浜, 2004, 9.
- 櫻井亜沙子, 鮑 智伸, 高橋卓也, 木島 毅, 佐武利彦, 鳥飼勝行: ウィルソン病に合併した女性化乳房の治療経験. 第6回横浜形成外科フォーラム, 横浜, 2004, 9.
- 谷口藍子, 前川二郎, 鳥飼勝行: 流涙および内嚢下方の腫脹を主訴とした悪性黒色腫の1例. 神奈川症例検討会, 横浜, 2004, 7.
- 奥村 仁, 千島康稔, 大山聡美, 下山 哲, 安瀬正紀: シアン化合物中毒合併が疑われた気道熱傷2例. 第12回新宿熱傷フォーラム, 東京, 2004, 10.
- 荻野浩希, 高橋卓也, 菅野百合: 関東労災病院における犬咬傷の検討. 第47回日本形成外科学会総会, 東京, 2004, 4.
- 菅野百合, 藤澤美幸, 佐武利彦, 前川二郎, 鳥飼勝行: 耳鼻咽喉科領域における Muscle bow traction の有用性: 第4回横浜形成外科フォーラム, 横浜, 2004, 1.
- 菅野百合, 前川二郎, 佐武利彦, 藤澤美幸, 三上太郎, 鳥飼勝行, 西條正城: Muscle bow traction 法による顔面神経麻痺の治療経験: 第47回日本形成外科学会総会, 東京, 2004, 1.
- 菅野百合, 児島忠雄, 平瀬雄一, 福本恵三, 西園千史: 埼玉成恵会病院におけるデュブイトラン拘縮の検討, 第6回横浜形成外科フォーラム, 横浜, 2004, 9.
- 高橋卓也, 荻野浩希, 菅野百合: 関東労災病院における表在リンパ節生検155例の検討. 第47回日本形成外科学会総会, 新宿, 2004, 4.
- 高橋卓也, 荻野浩希, 菅野百合: 外陰部 Aggressive angio-myxioma の一例. 第4回横浜形成外科フォーラム, 横浜, 2004, 1.
- 藤澤美幸, 菅野百合, 荻野浩希, 前川二郎, 三上太郎, 鳥飼勝行: 我々が経験した瘢痕癌の10例. 第47回日本形成外科学会総会, 東京, 2004, 4.
- 藤澤美幸, 荻野浩希, 岩瀬わかな: 血管腫を伴う口腔内癌の一例. 神奈川症例検討会, 横浜, 2004, 7.
- 岩瀬わかな, 藤澤美幸, 荻野浩希: 幼児の眼窩底骨折の経験. 第5回横浜形成外科フォーラム, 横浜, 2004, 5.
- 岩瀬わかな, 藤澤美幸, 荻野浩希: Buerger 病の足趾潰瘍の経験, 第6回横浜形成外科フォーラム, 横浜, 2004, 9.
- 清水 調: 三角弁付き腹直筋皮弁による乳房再建. 第47回日本形成外科学会総会, 東京, 2004, 4.
- 小林眞司, 安村和則, 白武靖久, 関戸謙一, 佐藤博信, 鳥飼勝行: 頭蓋形成術における頭蓋骨延長後の吸収プレートによる固定術. 第47回日本形成外科学会総会, 東京, 2004, 4.
- 小林眞司, 安村和則, 白武靖久, 鳥飼勝行, 久保健太郎, 松井宏道, 黒柳能光: 巨大色素性母斑に対する自家培養真皮と自家表皮を用いた治療法. 第47回日本形成外科学会総会, 東京, 2004, 4.
- 白武靖久, 小林眞司, 府川俊彦, 安村和則, 平川 崇, 鳥飼勝行: Latham appliance を用いた中間顎の突出した両側唇顎裂の治療経験. 第47回日本形成外科学会総会, 東京, 2004, 4.
- 安村和則, 小林眞司, 白武靖久, 鳥飼勝行: 裂手に対して横方向の骨延長を行った1例. 第4回横浜形成外科フォーラム, 横浜, 2004, 1.
- 安村和則, 小林眞司, 平川 崇, 白武靖久, 黒澤健司, 竹下圭子, 鳥飼勝行: 口蓋裂を合併した22q11.2欠失症候群の検討. 第47回日本形成外科学会総会, 東京, 2004, 4.
- 安村和則, 山本 康, 小林眞司, 牧野太郎, 鳥飼勝行: 口蓋裂再手術症例の術後評価. 第5回横浜形成外科フォーラム, 横浜, 2004, 5.
- 安村和則, 小林眞司, 平川 崇, 白武靖久, 竹下圭子,

鳥飼勝行：口蓋裂2次修正術の検討。第28回日本口蓋裂学会総会，鹿児島，2004，5。
安村和則，小林眞司，牧野太郎，山本 康，佐藤博信，関戸謙一，松井 潔，鳥飼勝行：形成外科で skin closure を行った開放性脊髄膜瘤6症例の検討。第21回日本二分脊椎研究会，東京，2004，7。
安村和則，山本 康，小林眞司，平川 崇，牧野太郎，府川俊彦，鳥飼 勝行：Syndromic Craniosynostosis に上顎骨高位骨切り術を施行した26症例の検討。第1回神奈川顎顔面症例検討会総会，横浜，2004，9。
牧野太郎，安村和則，山本 康，鳥飼勝行：トリーチャー

コリンズ症候群に合併した気道閉塞に対し下顎延長を行った1例。第5回横浜形成外科フォーラム，横浜，2004，5。

牧野太郎，安村和則，山本 康，鳥飼勝行：アプローチが問題になった高位頸椎巨大神経鞘腫の1例。神奈川症例検討会，横浜，2004，7。

牧野太郎，安村和則，山本 康，鳥飼勝行，関戸謙一，佐藤博信：高位頸椎周囲占拠病変に対してアプローチを工夫した1例。第22回日本頭蓋顎顔面外科学会，東京，2004，11。

リハビリテーション科

(論文発表)

佐藤博信，高岡 徹，斎藤 薫，西郊靖子，若林秀隆，小林宏高，横山 修，岡田真明，高塚 博，青木百合子：脳卒中高度専門病院における急性期から安定期までの脳卒中リハビリテーションによる帰結：連続症例1,189例の調査。総合リハ，**32**(8)：775-786，2004。
水落和也：関節リウマチの下肢装具療法。リハ医学，**41**：376-381，2004。
水落和也：若年性関節リウマチの最新知見とケアの実際。リハビリテーション治療の実際。小児看護，**27**：947-954，2004。
水落和也，高倉朋和：関節リウマチー最新の知見とリハビリテーションー早期リハビリテーションの関わり。総合リハ，**32**：723-727，2004。
北村由紀子：三次元立方体による新しい心身障害児概念図ー幼児版行動障害調査表の試作も含めてー。総合リハ，**32**：787-791，2004。
北村由紀子：脳性麻痺の運動麻痺（初診）。Journal of Clinical Rehabilitation，**13**：730-735，2004。
高岡 徹：高次脳機能障害とリハビリテーション。理学療法ー技術と研究一，**32**：1-4，2004。
小島真奈美，藤田郁代，高岡 徹：数の統語処理に障害をきたした1例。高次脳機能研究 **24**(1)：11-20，2004。
高岡 徹，松葉貴司：在宅障害者に役立つ住環境整備ー一段差解消機の導入。臨床リハ **13**(10)：940-943，2004。
高岡 徹：脳卒中ユニットと急性期リハビリテーション。カレントセラピー **22**(11)：8-11，2004。
菊地尚久：外傷性脳損傷のリハビリテーションー急性期におけるリハビリテーションー。リハ医学，**41**：747-751，2004。
菊地尚久，安藤徳彦：救命救急センターにおける高齢頸

髄損傷患者のリハビリテーションと退院後転帰について。日本脊髄障害医学会雑誌，**17**(1)：216-217，2004。

菊地尚久，安藤徳彦，長谷川一子：神奈川県スモン患者における加齢による身体・精神機能の変化。平成15年度厚生労働科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）「スモンに関する調査研究班」研究報告書：109-111，2004。

菊地尚久，山鹿真紀夫，影近謙治，橋本圭司，大橋正洋：リハビリテーション・ケース会議を考える。総合リハ，**32**：683-690，2004。

野々垣学，根本明宜，落合藤子，高倉朋和，水落和也，安藤徳彦：脳・脊髄障害における痙縮の出現頻度。総合リハ，**32**(4)：371-375，2004。

若林秀隆：これからのチーム医療についてー医師もコメディカル（医療協働従事者）である。日本医事新報 **4176**：59-61，2004。

若林秀隆：プライマリ・ケア関連職種におけるリハビリテーションに関する意識調査。日本プライマリ・ケア学会誌 **27**(2)：107-110，2004。

若林秀隆：介護量が多い脳卒中患者の家庭復帰と介護状況に関する調査。家庭医療 **11**(1)：30-33，2004。

若林秀隆：運動療法とリハビリテーションの臨床能力の習得に関する調査。日本プライマリ・ケア学会誌 **27**(4)：302-307，2004。

大西正徳，水落和也：救命救急センターにおける上肢切断への対応と義手。義手装具学会誌 **20**(1)：26-29，2004。

(総 説)

野々垣学：特集／痙縮治療実践マニュアル バクロフェン髄腔内投与。MB Med Reha **43**：66-71，2004。

岩崎紀子，高岡 徹：脳卒中各期に対するリハビリテーションの進め方 維持期。モダンフィジシャン **24**(9)：1455-1457，2004。